

こんにちは、大会会長の成田匠です。
41 回大会に臨むにあたり一言ご挨拶申し上げます。

まず始めに、昨年の大会直後に発生した台風 10 号被害で被災された皆様にあらためてお見舞いを申し上げます。40 年の長きにわたり私たちを快く受け入れてくださった多くの方々がお不自由な生活を強いられていることは本当に心が痛みます。また支援に駆けつけてくださった大会関係者や募金活動にご協力いただいたライダーの皆様にもこの場をお借りして感謝申し上げます。

さて、昨年は大会会長として初めて臨んだイーハトーブでした。岩手の美しい自然にあらためて触れ、変らない姿でそこにある岩手をトライアルライダーのドリームランドとして守っていきたいという思いを新たにしました。

しかし、大会の将来に対して大きな危機感も感じたのも事実です。

人は「本物」や「真剣な思い」に触れた時、心の底から湧き上がるような感動を覚えるのです。

私は 41 回大会以降、イーハトーブ創立の原点に立ち返り「次世代の育成」と「本物の提供」をテーマにしてゆきたいと考えています。

具体的にはクラシックトライアルに「IA クラス以上の腕前」を前提とした「スポーツクラス」を新設します。彼らの一挙手一投足、真剣勝負に臨む姿はイーハトーブにスポーツ本来の厳しさと清しさをもち、他の参加者の手本と憧れになってくれることでしょう。

また昨年からはじめた「アドベンチャートライアル」の規模を拡大し、子供たちにオフロードバイクを自在に操る楽しさと本物の自然を体験してもらいたいと考えています。

詳細は順次お知らせしてゆきますが、スポンサーの皆様をはじめたくさんの方々を協力してトライアルライダーのドリームランドを実現させてゆきたいと思っています。

それでは、夏の終わりの岩手でたくさんの笑顔にお会いできることを今から楽しみにしています。

出光イーハトーブトライアル大会
大会会長 成田 匠